

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念と共有の実践	職員一人一人が意見を出し合う。	フロアミーティングで目標達成計画の説明をし、期日を決めて提出してもらおう。その後、管理者と両フロアリーダーが意見をまとめて理念を掲げ、実施する。	6ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束をしない施設を目指す。	入居者様1名が身体拘束を実施しているが、2ヶ月毎に身体拘束適正化委員会を開催し、解除に向けての対策案を考えて実施する。	12ヶ月
3	35	災害対策	震災・水害時の際は近隣の住民の協力をして頂けるよう、地域との関わりを広げる。	地域の行事イベントに参加をし、介護施設があることを認識して頂く。近隣住民の方に挨拶をし、地域との協力体制を築き上げていく。	ヶ月
4	52	居心地のよい共有空間づくり	季節感を感じて頂くように季節の装飾づくりを制作していく。	フロアの壁絵は入居者様と一緒に制作しているので継続。駐車場にプランターを置き、花を植えて入居者様に花に水をあげることで季節感を感じて頂く。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。